東日本国際大、いわき短期大
いわき商業情報高と連携協定
「デジタル創造学科」と相乗効果も

東日本国際大、いわき短期大は13日、今春に開校したいわき商業情報高と、高校・大学間における連携を交わした。調印式が同日、平鎌田の東日本国際大で行われ、同大の中山哲志学長、いわき短期大の中村隆行学長、いわき商業情報高の古川英貴校長が協定書を交わした。両大学を運営する学校法人昌平黌の緑川明美副理事長らが同席した。

高校・大学間における連携は、いわき商業情報高の前身・平商業高との協定にさかのぼる。2005（平成17）年から始まり、単位の互換認定をはじめ、当時としては先進的な取り組みだった。

……

調印式に臨む緑川副理事長、中村学長、中山学長、古川校長（左から）

今後も私たちの建学の精神である『人間力の育成』に向け、しっかりと関係を深めていきたい」と述べた。

中山学長は「平商業高校との20年にわたる関係を踏まえ、地域にとって有意義な人材を育てていきたい」と呼びかけた。

協定を踏まえ、7月までに記念講演会も予定している。

高校・大学間における連携は、いわき商業情報高の前身・平商業高との協定にさかのぼる。2005（平成17）年から始まり、単位の互換認定をはじめ、当時としては先進的な取り組みだった。

……

調印式に臨む緑川副理事長、中山学長、古川校長（左から）

たという。

平商業、四倉の両高が統合し、新たにいわき商業情報高が誕生したため、従来の協定を解消した上で改めて結んだ。

新たな協定でも3者の関係強化や相互交流、施設利用などを盛り込んでいる。さらにいわき商業情報高が県内初となる「情報科」を設置しているため、東日本国際大が来年4月に開設予定の「デジタル創造学科（仮称）」との相乗効果が期待されている。

調印式にあたり、古川校長は「商業教育と情報教育を柱とする中、先が見えない時代に本校での教育にとどまらず、地域の大学と連携していくことはとても意義深い。東日本国際大にはデジタル創造学科の設立も控えて

大久に造粒固化施設
泉・アース建設が竣工式

hiroba ひろば

泉町下川の建設業「アース建設」（渡部浩司代表取締役）は4月25日、バイオマス発電所から排出されるばいじん、汚泥などを人工地盤材として加工する造粒固化施設の竣工式を、大久町大久の大久事業所で行った。

同社では2016（平成28）年から、発電所設計・運営などに取り組む東京パワーテクノロジー（本社・東京都江東区）と事業組合を発足し、火力発電所の石炭灰を人工地盤材に有効活用する事業を展開しているが、昨今環境問題やエネルギー問題を踏まえ、循環型社会への寄与を図ろうと、2月から今回の事業に着手。4月16日に施設が竣工した。

造粒固化施設は600平方㍍の大きさで、大久事業所敷地内のテントハウスに設置され、水を加えたばいじん、汚泥とセメント、薬剤をミキサーで混ぜ合わせることにより、作業を終えた採石場の埋め立てや橋、駐車場の下地などに使われる地盤材を製造。試運転をへて6月ごろから本格的に運用開始するという。

式には関係者約30人が出席。久之浜諏訪神社の高木美郎宮司が神事を執り行い、関係者一人ひとりが玉串を奉てんしたあと直会に入り、渡部社長が「プラント運営で9年間学んできたノウハウを生かし、人工地盤材を官民に普及拡大できるよう努力していきたい」とあいさつした。根本重和市議、猪狩武清筒木原地区区長、高津敦志大東銀行小名浜支店長、高崎文孝高崎クリーン代表取締役社長が祝辞に立った。

造粒固化施設の竣工式

大久事業所内に竣工した造粒固化施設

24日に「カラオケ交流会」
小川・我笑囲亭主催 市文化センター 観覧受付中

我笑囲亭のカラオケ交流会をPRするチラシ

我笑囲亭（いわき市小川町下小川字上ノ台121）主催のカラオケ交流会2026は24日午前9時から、市文化センターで開かれる。観覧無料だが、入場券の申し込みが必要。

3部制で1部と2部はお客様カラオケ発表会を催す。出場枠はすでに定員。一部は好きな曲（1コーラス）、二部はゲスト歌手の曲（2コーラス）を披露する。

3部のゲストは亜蘭（テイチクレコード）、島あきの（日本クラウンレコード）、塩乃華織（同）のほか、ドラムや和太鼓演奏もある。

1部は午前9時から、2部が午後1時45分から、3部は午後2時45分からを予定している。午後4時半終了予定。入場券の希望者は我笑囲亭へ電話連絡の上、返信用封筒に住所・氏名を記入し返信用切手を貼って我笑囲亭まで送る。

観覧申し込み・問い合わせは平日午前10時から午後3時の間に我笑囲亭＝(38)8333＝まで。

お母さんの似顔絵展 詳細決定
本社主催 来月12日から

いわき民報創刊80周年記念を兼ねた「第50回お母さんの似顔絵展」の展示日程の詳細が決まった。6月12日から7月3日まで、3期に分けて、小名浜の道の駅いわき・ら・ら・ミュウを会場に展示する。

いわき民報社主催。市内59の幼稚園や保育園、保育所、こども園から1017点の応募があり、金賞・銀賞・銅賞と特別賞「常磐共同ガス賞」が選ばれている。表彰式は6月21日、いわき・ら・ら・ミュウで行う。

会期と展示施設は次の通り。

【第1期】（6月12日正午～6月18日）あかい幼稚園　あざみ野こども園　東田保育園　愛宕認定こども園　磐崎幼稚園　植田保育園　内郷保育園　梅香保育園　大倉保育園　小川保育所　小川幼稚園　小島保育園　かしま幼稚園　かなや幼稚園　金山保育園　かべや保育園　神谷こども園

【第2期】（6月19日正午～6月25日）菊田保育所　錦星こども園　九品寺こども園総合教育コース　九品寺こども園インターナショナルコース　九品寺附属平窪幼稚園　窪田保育所　寿幼稚園　古湊保育所　さくら保育園　三宝保育園　汐見が丘幼稚園　常磐第一保育園　常磐第二保育園　聖テモテ幼稚園　滝尻保育所　田人保育所　玉川幼稚園　玉露保育所　遠野保育所　渚保育所　勿来カトリック幼稚園

【第3期】（6月26日正午～7月3日）なこそ幼稚園　はと保育園　はなみ幼稚園　はるな幼稚園　久之浜こども園　久之浜保育所　藤原幼稚園　船尾保育園　蛍保育園　まこと幼稚園　遠野町入遠野まこと幼稚園　松の実こども園　むつみ保育所　山田保育所　四倉保育所　四倉第一幼稚園　四倉第二幼稚園　来迎保育園　リズムの丘こども園　わかぎ幼稚園　若葉台保育園　渡辺保育所

（以上＝敬称略）

物価高踏まえ 人気商品増量
セブン―イレブン

セブン―イレブン・ジャパンは期間限定で、一部の商品を50％以上増量して販売している。対象はチャーハンやスイーツなど計12品目で、値段を維持したまま順次発売する。6月1日まで。

これまでの増量キャンペーンでは一部の具材などを増量していたが、今回は大半で「総重量を50％以上」とした。人気商品を中心に商品を入れ替えながら販売する。マーケティング本部長の岡嶋則幸氏は7日の説明会で「一目見て増量感がある。物価高のなか、『たくさん食べたい』というニーズに応え、客数の伸長につなげたい」と話した。＝読売

増量したチャーハン㊨と従来品